

News Letter

NEWS LETTER No.59 August 2022

▶青少年健康センター会長からのご挨拶 齋藤 環 …	1
▶メルクマールせたがや移転によせて ……………	2
▶千代田区にてひきこもりに関する 相談・支援事業がスタートいたしました ……………	2
▶会費等報告／2021年度決算報告 ……………	3
▶補助・助成事業完了報告／CENTER NEWS ……………	4

青少年健康センター会長からのご挨拶

昨年、青少年健康センター会長に就任して早くも一年が過ぎました。2020年にはじまった新型コロナの感染拡大もすでに3年目に突入し、現在は第7波のまただ中です。とはいえ重症化しにくいオミクロン株が主体ということもあり、イギリスは先陣を切ってあらゆる制限を撤廃し欧米諸国もこれに追随、日本政府も行動制限には踏み切らないつもりようです。例によって各家庭ごとに「自衛」せよとのことなのでしょう。マスク、手洗い、三密回避などを引き続き心掛しつつ、時には少人数での外食やコンサート、観劇や映画鑑賞など、感染リスクの低い行動は積極的に楽しんでいきたいものです。

コロナ禍は医療や支援業界にも少なからぬ影響をもたらしました。オンライン診療の比重が増えて診療の選択肢が増えたのは良い変化でしたが、反面、ケアや居場所、自助グループや就労支援などの集団活動は、一時的にせよ、活動自粛や人数制限を余儀なくされました。いずれも感染対策をしっかりすれば問題ないことがわかってきましたので、こちらについても徐々に日常が戻ってくることでしょう。致死性の低い感染症のパンデミックという未曾有の事態を生き延びるやり方を、私たちも少しずつ学びつつあるように思います。

閑話休題、この困難な状況の中、青少年健康センターもますます活動の範囲を広げてきました。従来からの茗荷谷クラブの活動に加え、私が主催する家族会「ひきこもりダイアログ講座」も、対面とリモートのハイブリッド開催という特異な形での開催が続いています。また、今年度はひさびさにセンター主催のシンポジウムの開催も予定しています。

自治体からの委託事業も順調に伸びており、世田谷区の「メルクマール世田谷」をはじめとして、文京区、台東区、千代田区からも事業を委託されています。狭い意味での医療に限定されない支援事業を継続してきたことで、むしろ現代の多様な「問題」に対応できている点が評価されたのではないかと自負しております。

厚生労働省も医療の視点ばかりではなく、昨年末に立ち上げた「ひきこもりVOICE STATION」のような当事者参加の広報活動にも力を入れはじめています。そこでは私も持論である「ひきこもりは（病気ではなく）、たまたま困難な状況にあるまともな人」といった考え方も受け容れられており、従来の「病気の視点からみる」という方針から方向転換をしつつあるようです。ここには、おそらく林恭子さん（ひきこもりUX会議主宰）のような当事者の考えも取り入れていこうという思いが感じられます。こうした発想はひきこもりに限ったものではなく、青少年健康センターの支援方針にも深い親和性があります。

不登校の急増やひきこもりの高齢化といった困難な問題は山積していますが、そこから生ずる多様なニーズに対しても、引き続き「柔軟性」と「機動性」をもって応えていきたいと考えています。

引き続き、皆さまの温かいご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人青少年健康センター
会長 齋藤 環

メルクマールせたがや 移転によせて

廣岡 武明

(メルクマールせたがや施設長)



「メルクマールせたがや」は、世田谷区の若者総合支援センターの一機関として平成26年9月に開設しました。開設当初より、公益社団法人青少年健康センターが運営業務委託を受託し、8年目を迎えています。主な活動内容は、①個別相談、②居場所活動、③家族会、④アウトリーチ、の4つです。

これまでは池尻にある世田谷ものづくり学校内で若者の就労準備を支援する「せたがや若者サポートステーション」と二機関一体となって活動していましたが、令和4年4月に全年齢対象となる世田谷ひきこもり相談窓口「リンク」が開設することとなり、三軒茶屋へ移転しました。移転先の建物は、メルクマールせたがやの他に、せたがや若者サポートステーション、生活困窮者自立支援センターである「ぶらっとホーム世田谷」が入所している複合施設となっています。

メルクマールせたがやは、ひきこもり相談窓口「リンク」の運営を担う一機関として、ぶらっとホーム世田谷と共にひきこもりに悩む当事者とその家族の相談支援にあたっています。今年度から若者支援だけでなく40歳以上のひきこもり支援をわたくしどもの2本の柱としています。複合施設の利点を活かして各機関の強みを発揮できるよう連携に努めます。世田谷区民の方は是非ご相談ください。

千代田区にてひきこもりに関する相談・支援事業がスタートいたしました

千代田区より茗荷谷クラブが委託を受け、2022年3月から「千代田区ひきこもり支援業務委託」を開始いたしました。こちらの事業では千代田区在住で、15歳以上のひきこもり当事者・そのご家族に心理相談、講座・家族会の開催、区内関係機関との連携等を行ってまいります。

千代田区では、区内の8050問題を含むひきこもりの長期化や現状の支援ではひきこもり等で悩んでいる方々が福祉サービスの網の目からこぼれてしまうことを憂い、本事業の実施へと至りました。既存のサービスにとらわれず、分野を超えた支援を行うため総合相談の窓口の設置を決め、茗荷谷クラブがその大役を担うこととなりました。たいへん重要な役割であり重圧もございますが、千代田区の皆さまに貢献できるよう職員一同励んで参りたいと考えております。よろしければ情報を拡げていただき、一人でも多くの方々に届けられればうれしく思っております。さまざまな点で至らぬ点があるかと思いますが、何卒ご指導・ご鞭撻いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



会費・寄付金・助成金・補助金報告 (2021年8月～2022年6月)

青少年健康センターは大勢の個人の方々のご献金、および団体・企業様の助成金、ご寄付、補助金などによって支えられています。ここに心から感謝申し上げます(敬称略)。

【正会員】

伊藤亜矢子	岩佐 壽夫	叶 香代	河野 治子	近藤 卓	鈴木 光代	高橋 清久	高山 智
玉置 正和	角田 忠之	能勢 孝子	日高 正枝	真下 テル	松岡 太郎	松崎 一葉	三宅 啓之
宮田タマ恵	米沢 宏						計：400,000円

【維持会員】

遠藤幸代子	大塚 慶子	加倉井拓夫	北川由布子	小西 香里	齊川 晃代	佐藤 晶昭	鈴木 邦一
徳江 逸子	戸村みどり	原 佐恵子	藤井 幸子	丸山 邦子	宮崎 圭子	山内 正樹	山本 弘夫
渡辺 彰子	匿名23名						計：400,000円

【SW会員】

132名 計：1,355,000円

【寄 付】

江積 珠己	小川 栄子	小西 香里	小山 太一	田中 昭臣	田辺美千子	常廣 澄子	橋本 進
廣瀬 令子	本間 健裕	本間 陽子	丸山 邦子	山下 正美	匿名 8名		
ソフトバンクつながる募金/ヤフーネット募金/住信SBIネット銀行募金							計：4,465,068円

【助成金・補助金】

公益財団法人JKA	285,214円	
独立行政法人福祉医療機構	4,384,000円	計：4,669,214円

2021年度決算報告

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 経常増減の部			
(1) 経常利益			
1 基本財産運用益	0	0	0
2 受取会費	810,000	930,000	△ 120,000
3 受取補助金等	14,891,269	28,613,889	△ 13,722,620
寄付金収入	5,599,689	10,383,829	△ 4,784,140
補助金・助成金収入	9,291,580	18,230,060	△ 8,938,480
4 事業収益	90,773,558	90,529,732	243,826
公1 引きこもり不登校に対する自立支援事業	90,129,223	89,850,150	279,073
公2 社会参加支援プログラム開催事業	0	0	0
公3 思春期カウンセリング講座開催事業	0	0	0
公4 講演会・シンポジウム等の開催、普及啓発事業	644,335	679,582	△ 35,247
公5 青少年自殺予防事業	0	0	0
5 その他の収益	1,416	4,591	△ 3,175
経常収益計	106,476,243	120,078,212	△ 13,601,969
(2) 経常費用			
1 事業費	96,886,013	102,041,861	△ 5,155,848
公1 引きこもり不登校に対する自立支援事業	84,143,090	88,213,688	△ 4,070,598
公2 社会参加支援プログラム開催事業	604,544	602,194	2,350
公3 思春期カウンセリング講座開催事業	968,153	1,073,615	△ 105,462
公4 講演会・シンポジウム等の開催、普及啓発事業	6,679,956	6,801,996	△ 122,040
公5 青少年自殺予防事業	4,490,270	5,350,368	△ 860,098
2 管理費	8,220,899	9,947,433	△ 1,726,534
経常費用計	105,106,912	111,989,294	△ 6,882,382
当期経常増減額	1,369,331	8,088,918	△ 6,719,587

2021年度 補助・助成事業完了報告

〈公益財団法人JKA 2021年度補助事業〉

公益財団法人 JKAにおける競輪の補助を受け、以下の「引きこもり・不登校に対する支援活動に対する補助事業」を完了いたしましたことをご報告申し上げます。

- (1) 親世代の亡き後に備えるライフプラン講座と個別相談会
- (2) 対話を重視した技法「オープンダイアログ」形式を用いた、ひきこもりダイアログ講座開催

当法人の事業に対し深いご理解ならびに温かいご支援を賜りましたJKA様には、心より感謝を申し上げます。また、講師の先生方ならびにご参加いただきました皆さまにも重ねて御礼を申し上げます。



ひきこもりダイアログ講座 (講師：斎藤環会長)

CENTER NEWS

2021年 8月～2022年 6月 (敬称略)

8月

- 板橋区家族ひきこもり教室 7日 (月1～2回実施)
講師：井利 由利 (当法人理事)・手塚久美子 (当法人臨床心理士)
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 21日
講師：斎藤 環 (精神科医) [講師名以下略]
- 茗荷谷クラブ 女性限定の居場所活動「女子会」 23日 (月1回実施)

9月

- ひきこもり家族のライフプラン講座 Zoom開催 4日
講師：菅原 直子 (ファイナンシャルプランナー)
- 文京区ひきこもり等自立支援事業 茶話会 於文京シビックセンター [会場以下略] 11日
- 茗荷谷クラブ ソフトボール大会 於目白台運動公園 24日
- ひきこもり家族のライフプラン講座個別相談会 於青少年健康センター 29日から3月まで開催
講師：「働けない子どものお金を考える会」メンバー

10月

- 東京都若者社会参加応援事業合同相談会 於シアター1010 ギャラリーBホール 3日
- 文京区講演会「ひきこもり家族のサバイバルプラン」 於文京区民センター [以下会場略] 9日
講師：島中雅子 (ファイナンシャルプランナー)
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 16日
- 茗荷谷クラブ 日帰り旅行 於川越 29日

11月

- 文京区ひきこもり等自立支援事業 茶話会 3日
- 台東区講演会「ひきこもった方々が働くことをえらぶとき」 於台東区役所 [会場以下略] 6日
講師：茗荷谷クラブ/あだち若者サポートステーション/しんじゅく若者サポートステーション/いたばし若者サポートステーション
- ひきこもりダイアログ講座 於アカデミー茗台・Zoom開催 13日
- 茗荷谷クラブ 焼き芋会 於朝霞農園 23日
- 茗荷谷クラブ スポーツ大会 於新木場 24日

12月

- ひきこもりダイアログ講座 於連合会館・Zoom開催 11日
- 茗荷谷クラブ クリスマス会 於文京アカデミー 23日

1月

- 文京区ひきこもり等自立支援事業 茶話会 8日

- ひきこもりダイアログ講座 於連合会館・Zoom開催 15日
- 茗荷谷クラブ 40代以上の居場所「よつば庵」 16日 (年6回実施)

2月

- 茗荷谷クラブ ボーリング大会 於後楽園 4日
- 地方議会総合研究所研修「ひきこもり・不登校に対する効果的な支援手法を考える」 Zoom開催 18日
講師：井利 由利
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 19日
- 文京区講演会「ひきこもりの理解と家族の役割」 23日
講師：白石 弘巳 (精神科医)
- 茗荷谷クラブ 読売センター職場見学会 24日
- 茗荷谷クラブ ディースタANDARD株式会社説明会 25日

3月

- 千代田区より「千代田区ひきこもり支援業務」を受託 1日
- 台東区講演会「ひきこもりの明るい未来のために」 6日
講師：伊波真理雄 (精神科医)
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 12日
- 文京区ひきこもり等自立支援事業 茶話会 12日
- 茗荷谷クラブ 花見・BBQ 於朝霞 29日

4月

- 世田谷委託事業メルクマールせたがや事業所移転 5日
- 茗荷谷クラブ 読売センターにて中間的就労開始 7日
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 16日
- 茗荷谷クラブ フットサル大会 於目白台運動場 22日

5月

- 茗荷谷クラブ 日帰り旅行 於鎌倉 20日
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 21日
- 文京区ひきこもり等自立支援事業 茶話会 於文京区民センター 21日
- 台東区講演会「家族関係とひきこもり」 28日
講師：井利 由利

6月

- 茗荷谷クラブ ディースタANDARD官民クラウド実習開始 1日
- 文京区講演会「ひきこもり家族ができることを考える」 18日
講師：深谷 守貞 (社会福祉士)
- ひきこもりダイアログ講座 Zoom開催 25日
- 茗荷谷クラブ 社会参加講座「障害者就労？ 一般就労？」 29日
講師：田代奈保美 (公認心理師)